

朗読・群読の教育的効果～成就感・満足感その2～

朗読・群読に対する成就感・満足感

《生徒の自己評価カードから》

【『枕草子』音読練習の段階】

- 枕草子は、ところどころ切れるところがあり、読むのがむずかしかった。意味もよくわからない。
- 徒然草より間をとるところが多かったので読みにくかった。
- まだ、しっかり読めないで満足していない。
- 古典は苦手なほうだが枕草子をけっこう読めるようになった。
- 思ったよりスラスラ読めたので自分でも驚いた。次は、どのあたりが女性の書いたものなのかが知りたい。

【『枕草子』内容理解の段階】

- 頭の中にイメージを思い浮かべることができた。それを絵に表すのはむずかしかったが、いったん描き始めると思い通りに描けた。清少納言が「をかし」と言っている意味が分かったような気がした。
- 目を閉じて聞くと情景が思い浮かんでくる。清少納言はこれをきれいだと言っているが、僕もきれいだと思う。
- 絵に描いてみると、清少納言の言っていることがよくわかる。四季の変化がすばらしくきれいで感動させられる。
- 「冬」の情景がいまいち思い浮かばなくて苦労したけれど、絵を描くのは好きなので楽しかった。また、ただ読んで頭の中に思い描くよりも自分で絵に表してみるほうが、いっそうその季節の想像が広がっていくのだなあと思った。

【『枕草子』群読学習後の段階】

- 群読すると、枕草子の文もわかりやすい。みんなで話し合えて楽しい。
- なかなかグループ台本を作ることができなかったが、グループで協力して群読することができたのでよかった。先生に一番よかったと言われてとても嬉しかったし練習を生かして発表することができてとても満足だった。
- 群読のグループ台本では、きちんと話し合ってつくることができた。でも、本番では反省する点がいくつかあったので、今後、この反省を生かしたい。とても楽しく学習することができた。
- 自分の読むところはまちがえずにできたのでよかった。台本を作るときに自分の意見を取り入れてもらえた。
- グループ学習だったので、話し合いができ楽しい授業だった。
- 今回の授業は、グループなどでみんなで話し合い協力して台本を作ったりして、とてもおもしろかったし、だんだんやっていくうちに話の内容などもよくわかった。